



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月9日

上場会社名 櫻護謨株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5189 URL http://www.sakura-rubber.co.jp/  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中村 浩士  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 中野 伍朗 (TEL) 03-3466-2171  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	6,854	△11.8	690	△35.6	660	△36.3	432	△29.1
26年3月期第3四半期	7,767	25.7	1,072	99.5	1,035	89.5	610	79.8

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 471百万円(△23.0%) 26年3月期第3四半期 612百万円(72.5%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年3月期第3四半期	43	60	-	-
26年3月期第3四半期	61	37	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	11,335	42.7	4,835	42.7	4,835	42.7
26年3月期	13,852	32.2	4,466	32.2	4,466	32.2

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 4,835百万円 26年3月期 4,466百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
26年3月期	-	0.00	-	6.00	-	6.00
27年3月期	-	0.00	-	-	-	-
27年3月期(予想)	-	-	-	5.00	-	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年3月期期末配当金の内訳 普通配当5.00円 記念配当1.00円

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	9,000	△26.1	700	△55.3	620	△59.0	380	△55.2	38	19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年3月期3Q	10,120,000株	26年3月期	10,120,000株
27年3月期3Q	218,244株	26年3月期	170,816株
27年3月期3Q	9,926,975株	26年3月期3Q	9,949,848株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書(第3四半期連結累計期間)	7
四半期連結包括利益計算書(第3四半期連結累計期間)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済、金融政策などにより企業収益や雇用・所得環境の改善、設備投資の回復基調を維持しているなど景気回復の動きが見られる一方、個人消費の弱さや円安による原材料価格の高騰など景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと当社グループといたしましては、新事業の展開、付加価値の高い製品の企画・開発、生産性の向上、金融収支の改善などの努力をいたしました。

その結果として、売上高は68億5千4百万円（前年同期比11.8%減）、営業利益6億9千万円（前年同期比35.6%減）、経常利益6億6千万円（前年同期比36.3%減）、四半期純利益は保険代理店事業の譲渡益を特別利益に計上した結果、4億3千2百万円（前年同期比29.1%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### <消防・防災事業>

消防・防災事業では、前期に引き続き発電所向け給水ポンプ車および積載ホースなどの調達があったものの救助資機材の減少により売上高は33億3千万円（前年同期比19.2%減）、セグメント利益（営業利益）は2億1千5百万円（前年同期比55.3%減）となりました。

#### <航空・宇宙、工業用品事業>

航空・宇宙部門では、P-1などの大型機及びF7エンジン部品の納入が減少し、工業用品部門では前期に引き続き橋梁用の伸縮装置や海外発電所向けの絶縁ホース販売が増加しました。

その結果、航空・宇宙、工業用品事業の売上高は31億5千8百万円（前年同期比4.0%減）、セグメント利益（営業利益）は5億5千3百万円（前年同期比16.7%減）となりました。

#### <不動産賃貸事業>

不動産賃貸事業は、売上高は3億6千5百万円（前年同期比2.5%増）、セグメント利益（営業利益）は1億1千4百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産

当第3四半期連結会計期間における流動資産は74億9千7百万円（前連結会計年度末比25億5千5百万円減）となりました。主として、短期借入金の返済により現金及び預金が4億1千3百万円減少、売上債権回収による受取手形及び売掛金が19億1百万円減少、棚卸資産が1億9千3百万円減少したことによるものです。また、固定資産は38億3千7百万円（前連結会計年度末比3千7百万円増）となりました。

この結果、資産合計は113億3千5百万円（前連結会計年度末比25億1千7百万円減）となりました。

#### ② 負債

当第3四半期連結会計期間における流動負債は37億9千万円（前連結会計年度末比29億4千3百万円減）となりました。主として、支払手形及び買掛金が15億8千8百万円、短期借入金が5億円及び未払法人税等が5億8千5百万円それぞれ減少したことによるものです。また、固定負債は27億9百万円（前連結会計年度末比5千6百万円増）となりました。

この結果、負債合計は64億9千9百万円（前連結会計年度末比28億8千7百万円減）となりました。

#### ③ 純資産

当第3四半期連結会計期間における純資産は48億3千5百万円（前連結会計年度末比3億6千9百万円増）となりました。主として、四半期純利益4億3千2百万円による増加と剰余金の処分5千9百万円による減少が要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間において一部利益が予想を上回っておりますが、平成26年5月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。なお、今後の市場動向など各種情報の収集に努め、業績予想に変更が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
<p>「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更致しました。</p> <p>退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。</p> <p>この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が36,876千円増加し、利益剰余金が23,969千円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に対する影響額は軽微であります。</p>

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,343,344	1,929,505
受取手形及び売掛金	4,931,826	3,030,071
商品及び製品	767,075	113,298
半製品	328,471	424,142
仕掛品	1,002,877	1,298,057
原材料及び貯蔵品	502,199	571,825
その他	198,800	150,436
貸倒引当金	△21,659	△19,611
流動資産合計	10,052,937	7,497,726
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,788,851	1,754,290
土地	1,304,211	1,304,211
その他(純額)	230,779	283,612
有形固定資産合計	3,323,842	3,342,114
無形固定資産		
無形固定資産	27,040	22,325
投資その他の資産		
投資有価証券	227,163	264,624
その他	222,160	208,670
貸倒引当金	△268	△238
投資その他の資産合計	449,055	473,056
固定資産合計	3,799,938	3,837,496
資産合計	13,852,875	11,335,223

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,925,181	1,336,844
短期借入金	1,340,000	840,000
1年内償還予定の社債	70,000	54,000
1年内返済予定の長期借入金	754,477	687,675
未払法人税等	634,868	49,403
賞与引当金	247,251	113,504
役員賞与引当金	72,000	45,000
その他	690,264	663,736
流動負債合計	6,734,042	3,790,163
固定負債		
社債	366,000	349,000
長期借入金	1,241,229	1,335,100
役員退職慰労引当金	183,773	202,355
厚生年金基金解散損失引当金	225,256	225,256
退職給付に係る負債	397,332	347,237
資産除去債務	10,711	10,896
その他	228,233	239,314
固定負債合計	2,652,535	2,709,160
負債合計	9,386,577	6,499,323
純資産の部		
株主資本		
資本金	506,000	506,000
資本剰余金	285,430	285,430
利益剰余金	3,775,580	4,124,730
自己株式	△46,505	△65,087
株主資本合計	4,520,505	4,851,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,319	73,709
退職給付に係る調整累計額	△102,526	△88,883
その他の包括利益累計額合計	△54,207	△15,173
純資産合計	4,466,298	4,835,900
負債純資産合計	13,852,875	11,335,223



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	7,767,711	6,854,364
売上原価	5,502,903	4,974,928
売上総利益	2,264,807	1,879,435
販売費及び一般管理費	1,192,357	1,189,101
営業利益	1,072,450	690,334
営業外収益		
受取利息	123	120
受取配当金	5,686	6,253
受取地代家賃	7,693	7,696
貸倒引当金戻入額	7,563	2,077
その他	11,801	11,039
営業外収益合計	32,868	27,188
営業外費用		
支払利息	44,920	37,649
社債利息	3,032	2,233
社債発行費	6,119	-
その他	15,609	17,478
営業外費用合計	69,682	57,360
経常利益	1,035,636	660,161
特別利益		
事業譲渡益	-	65,000
特別利益合計	-	65,000
特別損失		
固定資産除却損	220	555
特別損失合計	220	555
税金等調整前四半期純利益	1,035,415	724,606
法人税、住民税及び事業税	375,567	184,719
法人税等調整額	49,194	107,071
法人税等合計	424,762	291,790
少数株主損益調整前四半期純利益	610,652	432,815
四半期純利益	610,652	432,815

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	610,652	432,815
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,965	25,390
退職給付に係る調整額	-	13,643
その他の包括利益合計	1,965	39,034
四半期包括利益	612,618	471,849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	612,618	471,849
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	消防・防災 事業	航空・宇宙、 工業用品事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,121,548	3,289,347	356,815	7,767,711	—	7,767,711
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	5,580	5,580	△5,580	—
計	4,121,548	3,289,347	362,395	7,773,291	△5,580	7,767,711
セグメント利益	481,247	664,070	108,781	1,254,099	△181,649	1,072,450

(注) 1 セグメント利益の調整額△181,649千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	消防・防災 事業	航空・宇宙、 工業用品事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,330,133	3,158,442	365,788	6,854,364	—	6,854,364
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	513	4,950	5,463	△5,463	—
計	3,330,133	3,158,955	370,738	6,859,827	△5,463	6,854,364
セグメント利益	215,076	553,203	114,458	882,737	△192,403	690,334

(注) 1 セグメント利益の調整額△192,403千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。